

草津市教育委員会会議録

令和3年1月定例会

(1月20日開催)

草津市教育委員会

出席委員	教育長	川那邊 正
	委員	稲垣 明美
	委員	松嶋 徹也
	委員	小辻 寿規
議事参与	教育部長	居川 哲雄
	教育部理事（学校教育担当）	畑 真子
	教育部副部長（総括）	南川 等
	教育部副部長（中学校給食整備担当）	宇野 秀樹
	教育部副部長（図書館担当）兼 図書館長	武村 彰
	教育部副部長（学校教育担当）兼 学校教育課長	作田 まさ代
	教育総務課長	森下 康二
事務局	教育総務課課長補佐	門脇 弦太

開会 午後 3時00分

川那邊教育長

それではただいまから、草津市定例教育委員会1月定例会を開会いたします。

なお、本日は、中西委員から欠席届が出ておりますことを報告いたします。

また本日の会議は、オンライン会議システムを活用して開催いたします。松嶋委員と小辻委員はオンラインで参加いただいておりますので、よろしく願いいたします。

それでは議題に入りたいと思います。

—————日程第1—————

川那邊教育長

日程第1「会期の決定」についてであります。本日1日限りとしたしたいと思います。御異議ございませんか。

各委員

— 異議なし —

川那邊教育長

異議がないようですので、1月定例会は本日1日限りといたします。

—————日程第2—————

川那邊教育長

次に日程第2「12月定例会会議録の承認について」であります。あらかじめ事務局から配付され、熟読されていると思います。御異議ございませんか。

各委員

— 異議なし —

川那邊教育長

異議がないようですので、12月定例会会議録は承認されたものと認めます。

—————日程第3—————

川那邊教育長

次に日程第3「教育長報告」に移ります。

それでは、教育長報告です。新年になって初めての教育委員会

定例会です。本年もよろしくお願いたします。

まずは今年の仕事始めに行った訓示についてです。今回は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、対象は校長と課長以上の皆さんとし、その他の職員、教員の皆さんには電子でお伝えしました。内容はコロナ禍の状況にあり、事業や取組に支障が見られる今こそ教育振興基本計画の原点に立ち返り、目標や取り組むべきことを再確認する必要性です。内容について4つありました。それは第1に「子どもの生きる力を育む」ことです。特に草津の学校教育では、ICTの活用においてすぐれた取組が多く見られます。GIGAスクール構想を踏まえ、引き続き全国に誇れる実践を重ねる年にしたいと強調しました。

第2に「学校の教育力を高める」ことです。教員には授業や生徒指導を初めとする指導力向上は欠かせません。また、学校経営においても、経験や勘に頼る時代ではありません。経営者の確かなマネジメント能力はますます重要になることを伝えました。

第3に「社会全体で学びを進める」ことです。学校、家庭、地域がそれぞれの教育機能を生かした地域学習社会づくりは、地域協働合校の基盤です。人生100年時代の今、個々の学びと関わって、一層の活性化が求められることを話しました。

第4に「歴史と文化を守り育てる」ことです。貴重な文化財や歴史文化は本市の宝であり、保存・活用を通して、その価値や魅力を次代に継承するのも大きな役割です。併せて、文化芸術活動を通じた心の豊かさも創造していかなければならないと話しました。そして、その心構えとして、キーワードは「改革」。「改革なきところに前進なし、現状維持は後退である」。そして、改革に必要なのは、校長、所属長、教育委員会のリーダーシップとともに、リーダーシップはすべての職員に必要な資質であることも述べました。今年1年、教育委員会事務局の皆さんとともに積極的な教育行政が展開できればと思っています。

次に1月11日に、草津クリアホールで開催した「草津市成人の日記念式典20歳のつどい」についてです。委員の皆様、御出席ありがとうございました。今年はコロナ禍の元、成人式が開催出来るのかどうか、大きな課題でしたが、実行委員をはじめ多くの皆さんの「開催をしたい」という意欲により、無事、行うことができました。密を避けるために2部制にするとともに、徹底した感染防止対策を講じての開催です。成人の数は、草津市は14

71名で、式典には848名の方が参加されました。参加率は57.7%、昨年は58.4%ですので、例年並みとなりました。コロナ禍でしたが、多くの参加があったのは34名の実行委員の頑張りがあったからこそだと思っています。特に私が感心したのは、実行委員から成人へのメッセージです。20歳までの育ちへの感謝や人と人の繋がり大切さを伝えるものでした。紹介された自作映像はプロ顔負けと思われるぐらい完成度が高く、ICT機器を使いこなす今の若者の力を感じました。式典も厳粛な雰囲気の中で行われ、将来を担う若者への大きな期待を感じました。

次に学校表彰について紹介します。まずは南笠東小学校です。

「滋賀県インクルーシブ教育賞」で共生社会の実現に向けた取組を行った児童生徒への表彰です。校区内には、県立草津養護学校があり、毎年4年生児童が作品づくりをしたり、遊具を使った遊びをしたり、友達との関わりを深めています。30年間も続いていることには大きな意義があり、今後も良い交流が進むことを期待しています。

次に矢倉幼稚園が「ソニー幼児支援プログラム」で優良園を受賞したことについてです。テーマは「科学する心の芽を育てるⅡ～やってみよう！あきらめないやぐらっこ！～」で、生活や遊びの中での疑問や気づきを大切に、幼児の科学する心を育てようとする実践です。研究を通して科学する心の芽を育てるために必要なことを、例えば「子どもが疑問に思うことをつくる」「子どもの知的好奇心を喚起するような言葉かけをする」「子どもが不思議だなと思ったことに十分追及できる時間を確保する」など、教師の支援を8項目にまとめ、全教職員で実践を重ねられました。全国24都道府県の幼稚園、保育所、認定こども園、から136件の応募があり、その中の優良園13園に選考されました。

次に志津小学校が京都新聞の「おはなしを絵にするコンクール」で学校賞を受賞したことです。読書を通じた感想を自由に絵に表すコンクールで50年もの歴史があります。草津では、ほぼ毎年、どこかの学校等が学校賞を受賞するので、楽しみにしておりました。子どもの作品を見ると、その子の頑張りはもちろんですが、滋賀県知事賞、児童絵画指導者賞の他、入選、佳作などの多くの作品を見ると、教職員が研修を重ね、切磋琢磨しながら、指導力を向上された様子を感じることができます。図工は草津の強みです。今後とも市全体の取組の充実に期待しています。以上

稲垣委員

で私からの報告は終わります。ありがとうございます。

それでは、委員の皆様から教育全般に関する事項で御意見、御感想などがございましたらお願いをします。

前回の教育委員会以降に関わった行事について感想を述べたいと思います。

12月25日、プログラミングコンテストの表彰式、発表会に参加しました。毎年、感動をくれる発表会です。優秀校4校の発表を拝見しました。クイズ形式、会話形式、じゃんけんゲームなど、工夫した発表が多かったです。年々レベルが向上しているのを実感いたしました。どの学校も試行錯誤をされながら取り組んでこられたのがよくわかりました。一番驚いたのは、プレゼンが大変上手だったということです。関係の先生方、保護者の皆さんの御尽力もあつたのかと感じました。

1月11日は成人式に参加しました。コロナ禍で開催が危ぶまれる中、会場でふくよかな笑顔で語らう若者たちの姿が飛び込んできました。開催できて本当に良かったと思いました。式中も大変静かでした。開催に御尽力いただいた皆様に感謝です。20歳のつどいは一生に1回しかありません。良き1日となったことと思います。

1月15日には、新堂中学校の道徳教育研究発表大会に参加させていただきました。このテーマは「仲間とともに考え、気づき行動する力を育てる」というものでした。授業者の先生方は経験年数が3年以下と聞いて驚きました。どの先生も準備をしっかりと整えられ、板書計画もしっかりされていました。生徒さんたちは先生の質問に耳を傾けてよく考えられていました。自分の思いや考えを1文で終わらず2文、3文と記述されていることに驚きました。今後、改善すべき点はたくさんありました。先生がしゃべりすぎないこと。50分の授業の中で精査されなくてもよいのではと感じました。緊張感もあり、ファンの音もあり、生徒さんの声が小さく、教室全体に届いているのかと感じ、先生の感想からも聞き取れない部分もありましたと言っておられる中で、もう少し大きな声での発言を期待したいと思います。生徒の発表に対しては、一問一答で終わるのでなく、考えを広げる、他の生徒とつなげるなど、コーディネートしてほしいという部分もあります。深い学びになっていくことに繋がる大事な要素ではないかと感じ

ました。若い先生方です。これからの伸びに期待が持てました。
良い研究の成果を見せていただきありがとうございました。

最後に、あと2ヶ月で卒業する6年生、中学3年生の子どもたちは、この1年の学びをコロナに翻弄されていろいろな行事が制限されたり、変更になったりという中での1年だったと思います。あと2ヶ月「ああよかったな」「この6年間頑張ったな」「中学校最後の記念だな」と思えるような日々をコロナ禍の緊急事態の中ですが、卒業してくれることを期待したいと思います。以上です。

松嶋委員

教育委員の松嶋です。活動報告をさせていただきます。

以前から進言していた、リモートでの参加が今回出来るようになって、さらに草津市のICTの進歩を感じます。御協力、御尽力いただいた草津市のスタッフの方々に本当に感謝しております。今後も、審議の内容にもよりけりだと思いますが、移動にかかる時間やコスト等、環境負荷もそうですし、あとはコロナウイルスの感染拡大低減など、様々な効果が見込まれると思いますので、こういった遠隔でのやりとりをどんどん増やしていただければと思っております。

まず報告としまして2点あります。

1つは、12月25日にあったプログラミングコンテストの受賞式への参加になります。小学生ならびに中学生がコーディングされたプログラムをコンパイルして、Pepperに動作をさせたものを実際に拝見させていただきました。見させていただいた限り、いろんなアナログの信号のインプットをどういうふう処理して、必要なアウトプットにどうつなげるかという流れを理解して、プログラムをそれぞれのチームが組まれていて、いろんなセンサーを利用したり、タッチパネルの感圧を利用したりと、すごい工夫がなされていて、すごく見ていて興味深かったです。生徒たちが使っていたプログラミングの言語自体は、ブロックを組み合わせていくような簡単なものではあります。そういった変数を定義して、インプットから必要なアウトプットを生み出していくという基本的な流れを理解できていると感じましたので、小中学生が全体で学ぶプログラミングの授業の成果としては、十分なものになっているのではないかなと感じました。自分が子どもの頃とかは、マイコンが入った簡単なロジックボードのようなも

のがあって、そのLEDをつけたり消したりするだけというような、簡単なものでしたが、今は、他に見させていただいたとおり、Pepperを使って実際動作確認ができるすごく充実した環境が、草津市は整っていますので、素直にうらやましいなというふうに見ていて感じました。これからは、実際のユーザー側の視点に立ってみたら、例えば今回見させていただいた中だとPepperが動いたときに、実際に腕が当たりそうだった場面もありましたし、そういった危険なところはないかですか、ユーザーの視点に立って、どういう動作をした方がよりいいのかというところを少しずつ学んでいながらプログラミングも勉強していくとよりいいかと思います。先ほど稲垣委員がおっしゃったこととは少し逆のことになりますが、プレゼンテーションについて、もし今後やはり全国大会なども目指していくのであれば、プレゼンテーションの方法については、もう少し先生の方が積極的に生徒にレクチャーしていく必要があるかと思いました。すごく典型的な例でいうと、実際コーディングをしたファイルを全部パワーポイントの1ページに張りつけていた画面とかのスライドも見せていただきましたが、スライドを見ている側はあれだけ小さくなった文字をどうしても見えないので、意味のないスライドを入れるよりは、もう少しこういうところを工夫しましたというようなところを拡大して説明したほうがいいかなと思いましたし、そういったところも、先生が指導してあの形になっているのであれば、もう少し先生自身もプレゼンテーションの方法は学ぶべきかと思いました。今後Pepperだけで表現できない動きとか、そういったものが出てくるようだったら、将来的に簡単なロボットとかも自作して、小中学生が言語によりプログラミングに深く触れていっていただけたらなというふうに感じます。

次に、1月11日に無事実施された成人式、こちら午前の部に参加いたしました。本当に厳粛な雰囲気ですと進んでいて、実際成人された方々は、今回どんな気持ちだろうというふうに思いながら見ていましたが、草津市のホームページに動画が掲載されていて、自分が出席していた間の部分だけでなく、自分が出席していた後の部分、恩師の方の挨拶、メッセージなどが読み上げられている部分も、草津市のホームページの動画から拝見ができて、その動画の中では実際、成人された方々から笑い

声も出ていて、すごく楽しんでいる様子が感じられましたので、本当に実施ができてよかったというふうに感じました。是非、こういった取組することによって、参加できなかった方も、そういった恩師の方々のメッセージを実際動画で見て、確認することができますので、今後もどんどん続けていって欲しいと思います。

最後に、タブレットの端末を実際に自分の娘も持って帰ってきて、私と一緒にセッティングの方をいたしました。プリントに書かれている内容だけで、娘1人でセッティングするのが難しかったので、自分も設定を手伝いましたが、もしかしたら学校から渡された資料だけでは、家庭でセッティングしたり、Teamsのアプリを起動して何をしたらいいのかというところがわかりにくい御家庭もあるのかと思ったので、今後、そういうところのフォローをどうやっていくのかということも、見ていきたいと思いますし、あとは、タブレットを持ち帰ってくるのが実際1週目はもう持ち帰らずそのまま学校に置いている形になっているようですが、今後どういうふうに使っていったって、より先生の工数を減らすのか、より効率的に勉強を進めていくのかということを親の立場でしっかり見ていきたいというふうに感じました。また、この場でその部分に関しても報告の方は逐一していきたいと思います。以上です。

小辻委員

小辻です。よろしくお願いいいたします。新年、明けましておめでとうございます。まず、松嶋委員もおっしゃっていましたが、本日Zoomで参加させていただいております。行っても行かなくてもということ、それぞれあると思いますが、皆さんがこうして行かないという部分は増えてくると思います。それぞれ接触が減れば、良いこともたくさんあるのかと拝見していました。一応大学の授業の方はほぼ終了しましたが、立命館大学では、茨木そして京都キャンパスがございますので、緊急事態宣言の中でオンデマンドということにさせていただいております。その中で、学生たちの活動がいろいろと制限されてきていて、辛いところはあるかと思いますが、協力しつつ頑張っていただけだと思います。

順番的に逆になりますが成人式の方から話をさせていただきます。成人式に関しましても非常に厳粛というか、本来の成人式の持つイメージといいますか、元々成人式は厳粛なものだと思います

が、そんな中でされていたことは非常に良かったと思います。また、お楽しみイベントみたいな形で、楽しく他のものも見せていただいて、帰りの際に会場をちらっと見させていただくと、みんな楽しそうに過ごしていて非常にいい成人式だったということがまず1点です。その一方でやはり市民の皆さんから心配の声もあるかもしれないと思いました。どこまで言って良いのかわからないですが、近くでもスーパーとかには、やはり心配する声が出まして、私は午後の参加させていただきましたが、午前の部で来た20歳の若者たちが、大きな声で騒いでいたり、場合によってはお酒をその場で飲んでいたりとかそういう部分も拝見されました。それで、救急車で運ばれた方もいたと思います。そういうこともありましたので、そのあたり、皆さんの気持ちはよくわかりますが、市民の方々から、お声があったところを心配しているところです。成人式中は我慢ができていましたが、終わってからは、なかなか大変だったのかと思います。どれだけ懇親会がされたかわからないですが、他都市とかでは本当に多くの規模で懇親会したっていう事例もあったようですので、そのあたりが今後、影響あるのかに関しましてはしばらく見守らないといけないと思います。その上で、自分たちでもしっかりと対策をくださった実行委員会の20歳の皆さんは非常に頑張っておられたという思いもありましたし、非常に接客といたしますか、我々に対しても、非常にすばらしい態度で接していただきまして、ありがたかったと見て思いました。その一方で実行委員の皆さんが友達との接触の時間が十分取れなかったことは、残念というわけではないですが、もう少し取ってくれても良いかと思って見ておりました。実行委員会の皆さんには頭が下がりました。

その次に、プログラミングコンテストです。Pepperを非常にうまく使いこなされていましたが、その上でプレゼンテーションの部分が非常に気になりました。何が気になったのかというとプレゼンテーションそのものではなくて、止まってしまった場合や自分たちが予定していたプレゼンテーションと違うソフトだった際にどうしてよいのかわからなくなってしまったりしていたところが、非常に気にはなりました。やはり今後、全国大会を目指していかれるというところにおきましては、不測の事態が当然起こってくると思います。その不測の事態が起こった際にどういうふうにして乗り越えていくのかというところがやはり重要にな

っていくのかと思います。しかし、それを児童の皆さんに求めるのは難しい部分が多々あるのかと思いますが、不測の事態が起こったところをシミュレーションした上で練習していく教育が僕はあっても良いというふうに思っています。それこそが今後、草津の子どもたちが日本全体とか世界を目指していく中で、生きる力をつけていただけると、本当の意味で草津の子どもたちが、強く学べるようになっていくと思います。先生たちからするとそこまでさせるのかという意見もあるかもしれませんが、わざと違うファイルに入れておいてその時どうするかとかそういう練習もしていただけるといいのかなと思います。これは実際に高校レベル、大学とか進学の際に例えばAO入試とかで受けに来て、面接の時に覚えたまましゃべる生徒がおられます。自分の言葉に置き換えて話せていた生徒がどれだけおられたのか。できていなかった子とできていた子の差は確実なものだったと思いますので、そのあたりも是非今後、私もお手伝いしたいと思いますが、御指導いただきますと、より草津の子どもたちが、世界に羽ばたいていく上で良くなっていくのではないかと思います。全体の中身としては非常に良く、ソフトバンクの方も含めて皆さん来ていただいて、そして、保護者の方も本当に熱心に皆さん見守っていただいて、ありがたかったという思いもありますし、プライバシーの関係もあるかもしれませんが、今後は、できたらそれこそZoomとかで公開していただけたらすると、よりよかったのかと思つて拝見しました。とりあえず以上になります。

川那邊教育長

それでは、教育長報告につきましては以上で終わらせていただきます。

—————日程第3—————

川那邊教育長

次に日程第4「報告事項」に移ります。事務局より報告願います。

教育総務課長

教育総務課の森下でございます。報告事項について御説明申し上げます。資料の1ページを御覧いただきたいと思います。ロボット芝刈り機につきまして、草津第二小学校の教育振興会様から御寄付をいただきました。補足の説明としまして、ロボット芝刈り

について簡単に御説明させてもらおうと思いますが、家庭用の自動掃除機と同じものと考えていただけたらと思います。携帯のアプリの方と連動しておりまして、アプリの方に稼働時間を入れますと、自動でロボット芝刈り機が決められた時間に草や芝を刈ってくれるというようなものでございます。以上でございます。

川那邊教育長

ただいまの報告事項につきまして、御質問等ございませんか。

各委員

— 質問なし —

川那邊教育長

それでは報告事項につきましては以上で終わらせていただきます。

以上をもちまして本日の議事は終了となりますが、他にございませんか。

それではこれもちまして、1月定例会を終わらせていただきます。次回は2月17日(水)10時30分から定例会を開催する予定ですのでよろしくお願いいたします。

閉会 午後3時30分